

利用規約

(目的)

1. Digi Police (以下「本アプリ」という。)は、警視庁から本アプリの利用登録をされた方(以下「利用者」という。)に対して、主に東京都内における防犯に関する情報等を提供することを目的としています。

(運用管理等)

2. 本アプリは、警視庁生活安全総務課が管理者として運用管理します。

(アプリの概要)

3. 本アプリは、街頭犯罪や子供に対する声かけ事案及び特殊詐欺の電話がかかっている状況、公開捜査情報、特殊詐欺被害防止に関する情報、子供や女性に対する防犯情報、その他お知らせ情報等を提供するほか、防犯ブザー・痴漢撃退機能等を有しています。

(更新情報の通知)

4. 本アプリでは、利用者が選択した地域及び情報の更新情報を利用者に通知します。ただし、選択された通知情報以外にも、警視庁が特に必要と判断した情報を通知する場合があります。

(地図情報のご利用に当たっての留意事項)

5. 本アプリで取り扱っている事件及びその他のマーク地点は、発生地付近を示すもので、発生地点そのものではありません。また、大縮尺の地図では、一部の道路及び各事件等の発生状況は表示されません。この地図システムは、民間の地図配信サービスを利用して提供しておりますので、地名等の変更があった場合の新しい地名の表示は、地図配信サービスの地図更新に合わせて更新となります。

(防犯ブザー・痴漢撃退機能)

6. 防犯ブザー・痴漢撃退機能は、利用者の安全を保証するものではありません。下記の注意事項について同意の上、設定をお願いします。

【注意事項】

- (1) 防犯ブザー・痴漢撃退機能のメール送信機能は、緊急通報用ではありません。事件・事故等の緊急時は、110番通報等をご利用ください。
- (2) 防犯ブザー・痴漢撃退機能のメール送信機能では、公的機関へのメール送信を制限していますので、送信先に設定してもメールを送ることはできません。また、その他の方法によりメール送信先に公的機関を設定し、メールが送信された場合でも、メールを受信した公的機関は、当該メールに対応する義務を負わないものとします。
- (3) 防犯ブザー・痴漢撃退機能のメール送信機能でメール送信先に設定する相手方には、必ず、予め用途を説明し、承諾を得てください。

(位置情報の取得)

7. 本アプリは、利用者の位置情報を取得しますが、取得した位置情報は蓄積されません。

(利用環境)

8. 本アプリは、すべての利用環境に対して完全な動作を保証するものではありません。利用者の環境や利用する機器によって、一部又は全部の機能が利用できない場合もあります。

(1) 本アプリのご利用にあたって推奨するスマートフォン用オペレーティングシステム(以下「OS」といいます。)は、Android7.0以上、iOS10.0以上です。

(2) その他のOSでも正常に動作するものがあります。

(免責事項)

9. 正確な情報提供等に努めておりますが、緊急又は流動的な情報等に関しては、完全性、確実性、有用性を保証できません。これらの情報等を利用して生じた利用者又は第三者の損害に対して、警視庁は一切の責任を負いません。

(利用規約の同意等)

10. 本サービスの利用登録をもって、利用者が本規約に同意したものとみなします。なお、本規約は必要に応じて改訂されることがあります。本規約が改訂された場合は、改訂後の内容が直ちに適用されます。

(問合せの制限)

11. 提供した情報についての問合せは、問合せ先を記載している場合を除き、受け付けません。

(費用)

12. 利用登録及び利用に必要な機器類は、利用者自らの費用と責任において用意してください。また、本アプリは無料で利用できますが、情報取得のための通信料は利用者の負担となります。

(登録内容の変更等)

13. 利用者は、いつでも登録内容を変更し、又は登録を解除することができます。

(禁止事項)

14. 利用者が次の行為をすることを禁止します。また、悪質な場合には法的措置をとる場合があります。

- (1) 登録情報を第三者に開示し、貸与し、又は譲渡する行為
- (2) 有害なコンピュータプログラムを送信し、又は書き込む行為
- (3) 本サービスの運営を妨害し、又は信用を毀損する行為
- (4) 法令又は公序良俗に違反する行為又はそのおそれのある行為

- (5) 他人の権利を侵害する行為
- (6) その他警視庁が不相当と認める行為

(配信遅延、中断、不着、文字化け等)

15. 通信機器の状態や回線、サーバーの混雑等による配信遅延、中断、不着、文字化けなどにより生じたすべての結果について、警視庁は一切の責めを負いません。また、再通知又は原因に関する調査等の求めにも応じられません。

(本アプリの停止等)

16. 本アプリのシステムに異常が生じた場合は、予告なくアプリを停止することがあります。これにより生じた利用者及び第三者の損害に対して、警視庁は一切の責めを負いません。

(プライバシーポリシー)

17. 警視庁は、利用者の登録情報について次のとおり取り扱います。ただし、法令の規定に基づき司法機関又は他の行政機関から提供の申出があった場合は、この限りではありません。

- (1) 利用者の情報は、本アプリを運営する目的のみに使用し、他の目的には一切使用しません。ただし、本アプリの機能の改善及び向上のため、統計的な資料として利用する場合があります。
- (2) 利用者の情報は、警視庁が善良なる管理者の注意義務をもって管理します。
- (3) 利用者の情報は、個人を識別できる情報ではないことから、利用者その他による自己に関する情報の開示請求等については応じられません。

(知的所有権)

18. 本アプリ内で使用しているイラストには、権利者の表記があるものを除き、クリエイティブコモンズ・ライセンス（表示-非営利 -継承 4.0 国際）を適用します。その他、本アプリで提供されている情報の著作権は、原則として警視庁が保有しており、その扱いは日本国の著作権法に従います。また、本アプリ内で使用している著作物で権利者の表記があるものは、原作者が著作権を保有しています。

(私的利用の制限等)

19. 本アプリで提供される情報は、個人的かつ非営利的な目的のために利用する場合に限り、複製、使用、ダウンロードすることができます。